

港湾経済研究
流通革新と埠頭経営

日本港湾経済学会編

日本港湾経済学会年報
No. 8 / 1970

株式会社
成山堂書店

序

本年度第9回全国大会は清水港において「流通革新と埠頭経営」という共通テーマのもとに開かれる。本学会も創会以来次年度は第10回をむかえようとしており、年々その充実ぶりは会員諸兄と共にご同慶に耐えない。

本年度の共通テーマは、まさに時を得た感もある。流通革新が世界的規模でおきあがりつつあり、さらにその問題の焦点は港湾にむけられている。こうした大任を港湾が果たすためには、どうしても港湾の管理・運営体制を根本的に考え直さねばならなくなってきた。それは、一方では管理や運営の体制を民主化すると共に、他方では港湾を経営してゆく経済的な自由化を計らねばならない。例えば「レペニュ・ボンド」（見返債券）の発行にもとづく、経済性と民主性を柱にした方向付けが意識の上でも、理論の上でもまず考えられることが急務であろう。そういう意味においても、本学会が港湾の管理・経営問題を真剣に学問的に考究することは、学会の時代的要要求に応える道もあり、そのことが学問の発展にもつながることと信ずる。

本学会の大会については、大会地元各位の絶大なる御尽力をはじめ、日頃賛助会員ならびに正会員の御協力、さらに事務局関係者の御努力のきわめて大なることを感謝すると共に、今後なお一層の御力ぞえを願い、共々本学会の健全な発展を念じてやまない。

昭和45年初秋

日本港湾経済学会長 矢野 剛